

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 アクシアル リテイリング株式会社
 コード番号 8255 URL <http://www.axial-r.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員 (氏名) 山岸 豊後

TEL 0258-66-6711

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家、アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	67,496	4.4	2,110	△3.0	2,154	△5.0	1,254	△2.8
25年3月期第2四半期	64,633	2.0	2,175	4.7	2,267	10.7	1,290	17.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,356百万円 (△2.2%) 25年3月期第2四半期 1,387百万円 (21.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	71.80	—
25年3月期第2四半期	73.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	58,035	27,269	47.0	1,560.97
25年3月期	55,313	26,350	47.6	1,508.31

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 27,269百万円 25年3月期 26,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	26.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

【平成26年3月期 第2四半期末】について

当第2四半期末の配当につきましては、この四半期決算短信発表日現在において、正式に決定したものではありません。

正式に決定した時点で、改めて剰余金の配当に関する公表をいたします。

【平成26年3月期 期末】について

未定としておりましたが、上記のとおり予想値を公表いたします。なお、詳細につきましては、本日公表の「平成26年3月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」ならびに、この四半期決算短信【添付資料】5ページ「1 当四半期決算短信に関する定性情報 (3) 連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,000	30.0	4,500	15.3	4,700	12.6	2,400	17.9	117.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

未定としておりましたが、上記のとおり予想値を公表いたします。なお、詳細につきましては、本日公表の「平成26年3月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」ならびに、この四半期決算短信【添付資料】5ページ「1 当四半期決算短信に関する定性情報 (3) 連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	18,014,239 株	25年3月期	18,014,239 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	544,363 株	25年3月期	544,363 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	17,469,876 株	25年3月期2Q	17,530,182 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この四半期決算短信に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期決算短信【添付資料】5ページ「1 当四半期決算短信に関する定性情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目次

	頁
1 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2 サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(四半期連結損益計算書)	9
(四半期連結包括利益計算書)	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する事項	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13
4 補足情報	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14

1 当四半期決算に関する定性的情報

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が判断したものであります。

なお、将来に関する事項につきましては、不確実性を有しており、将来生じる結果と異なる可能性がありますので、記載しております事項に対する判断は、以下記載事項及び本項目以外の記載内容も合わせて慎重に行われる必要があります。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全般的な景況感の改善や一部業種が先行して収益改善を示すなどの動きが見られましたが、実体経済全体の好転にまでは至りませんでした。

このような状況において、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高が674億96百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益が21億10百万円（前年同期比3.0%減）、経常利益が21億54百万円（前年同期比5.0%減）、四半期純利益が12億54百万円（前年同期比2.8%減）となり、1株当たり四半期純利益は71円80銭となりました。

売上高、営業利益につきましては、以下に記載いたしますセグメント区分ごとの要因により変動しております。

経常利益につきましては、営業利益の減少により減少しております。

四半期純利益につきましては、経常利益の減少により減少しております。

各セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

① スーパーマーケット

(全般)

競合状況の激化は、同業他社との間のみならず、異業種との間でも一層激しさを増しており、販売価格の継続的下落が続いております。一方で、生鮮品の相場動向、為替相場の問題や原料原価の価格改定に起因した商品原価の上昇もあり、売上総利益を確保することが難しい状況が続いております。

このような状況において、当社グループでは、競争に耐えうる強い企業体質の実現に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、新たな競合の発生がありましたが、新規出店店舗や改装店舗が概ね好調に推移したことや、種々の取り組みによって、全店の売上高は前年同期に比べ4.5%増加いたしました。店舗段階の売上総利益率は、商品仕入価格の上昇傾向と販売競争の激化の中にあっても、週間管理の仕組みを徹底することや廃棄ロス削減の取り組みによって24.0%と前年同期に比べ0.1ポイントの微減にとどめることができました。

(商品政策)

春季につきましては、気温上昇が早めに到来したため、行楽用品や夏物商品が早めに動き出し、売上の底上げにつながりました。夏季につきましては、梅雨が長引いた後、急激な猛暑となりましたが、下旬には一時的に気温が低下し、その後再度上昇するなど、気温変動が非常に激しく、お客様の動向は細かく変化いたしました。これらに対し、先を見据えた商品計画を行い、概ね、状況に応じた対応が図れました。

プライベートブランドの商品につきましては、生鮮相場の変動に強い商品の改定や価格競争力のある季節商品の開発を行いました。

このほか、当社グループの購買規模を活かし、お客様にとって価格以上の価値をもった商品を選定して集中販売する「チャレンジ商品101」の取り組みや、当社グループ内の食品製造機能を活かし品質を兼ね備えた独自の低価格商品「パワーアイテム」の拡販を継続しております。

(販売政策)

販売計画の立案から結果の振り返りまでを体系化した週間管理の仕組みを徹底し、日々の店舗作業管理の仕組みと連動させることにより、環境や競合状況の変化にあっても、先を見据えた計画の立案や売場への具現化を継続しております。

行事や物日といった、いわゆるハレの日には、従来とは趣向を変えた商品提案を行い、お客様からご支持をいただくことができました。

これらにより、来店客数は、前年同期に比べ既存店では0.5%減少いたしました。新規出店効果もあり全店では4.1%増加いたしました。また、買上点数は、前年同期に比べ、全店で0.6%増加いたしました。

(コスト・コントロール)

作業計画と連動した労働時間管理や、商品廃棄金額の削減、ISO14001の環境マネジメントと連動した環境コストの削減を進めるほか、様々な形で経営資源の適正利用、使用量の削減の取り組みを継続しております。

販売費及び一般管理費は、連結全体で前年同期に比べ7億42百万円増加し、売上高に対する比率は22.9%となり、前年同期に比べ0.2ポイント増加いたしました。概ね当初予定した範囲に収めることができました。

金額の増加につきましては店舗数の増加に伴う諸経費の増加や電気料金の値上げに伴う水道光熱費の増加、原油価格の上昇に伴う配送費の増加に加え、前年同期は実施しなかった改装1店舗の改装経費の発生と、原信ナルスDC（ディストリビューション・センター）の新設に係る諸経費の発生によるものであります。

(物流機能)

建築を進めておりました原信ナルスDC（9月・新潟県長岡市・延床面積22,509㎡）が竣工いたしました。

これは、在庫保管型の物流センターであり、従来ごく小規模であった機能を、改めて大規模かつ本格的なものとして新設したものであります。

この稼働により、商品調達力が強化されるのみならず、売場と連動して、店舗オペレーション全体の効率化、サービスレベルの向上を図ってまいります。

(出店・退店等)

出店につきましては、原信上田緑が丘店（6月・長野県上田市・売場面積2,085㎡）、原信西新発田店（9月・新潟県新発田市・売場面積2,087㎡）を新設いたしました。

改装につきましては、原信新津店（5月・新潟県新潟市・売場面積2,392㎡）について実施いたしました。

退店につきましては、該当事項はありません。

(業績)

当第2四半期連結累計期間の営業状況を示すと以下のとおりであります。

項目		当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同期比
店舗数	スーパーマーケット	71店舗	3 舗増
	100円ショップ	1 店舗	増減なし
店舗売上高	全店	64,117百万円	104.5%
	既存店	61,202百万円	100.0%
来店客数	全店	3,602万人	104.1%
	既存店	3,437万人	99.5%
買上点数	全店	10.51点	100.6%
客単価	全店	1,780円	100.4%

- (注) 1 店舗売上高及び客単価には、消費税等は含まれておりません。
 2 店舗数は、当第2四半期連結会計期間末現在の設置店舗数であります。
 3 既存店は、店舗開設より満13ヶ月以上を経過した店舗であります。
 4 買い上げ点数は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになる商品数の平均であります。
 5 客単価は、お客様が一回のお買い物でお買い上げになった金額の平均であります。
 6 前年同期比は、各月の比率の平均値であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は671億81百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は18億97百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

② その他

(清掃事業)

外部顧客向けの販売及びスーパーマーケット事業向けの販売は、受託先の増加によりいずれも増加いたしました。この結果、前年同期に比べ売上高が3.2%、営業利益が24.6%それぞれ増加いたしました。

(情報処理事業)

外部顧客向けの販売は、自社開発パッケージソフトの市場における評価が浸透し、販路の拡大により増加いたしました。また、スーパーマーケット事業向けの販売は、情報機器の更新需要により増加いたしました。この結果、前年同期に比べ売上高が1.1%、営業利益が109.6%それぞれ増加いたしました。

(印刷事業)

外部顧客向けの販売は、メディア媒体の需要減少により若干減少いたしました。一方、スーパーマーケット事業向けの販売は、チラシ受注の増加により増加いたしました。この結果、前年同期に比べ売上高が3.7%、営業利益が86.8%それぞれ増加いたしました。

(業績)

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は18億32百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は2億28百万円（前年同期比63.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ27億21百万円増加し580億35百万円となりました。また、総負債は前連結会計年度末に比べ18億2百万円増加し307億65百万円、純資産は前連結会計年度末に比べ9億19百万円増加し272億69百万円となり、1株当たり純資産は1,560円97銭となりました。

各項目別の内容を示すと、次のとおりであります。

(総資産)

流動資産は129億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億56百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ11億62百万円減少したことによるものであります。なお、流動資産の構成比は前連結会計年度末に比べ3.3ポイント減少し22.4%となりました。

固定資産は450億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億78百万円増加いたしました。その内容は次のとおりであり、この結果、固定資産の構成比は前連結会計年度末に比べ3.3ポイント増加し77.6%となりました。

有形固定資産は、333億82百万円となり前連結会計年度末に比べ35億71百万円増加いたしました。これは主に、当第2四半期連結累計期間における新規出店2店舗への投資及び在庫保管型物流センターの建設に係る設備投資により建物及び構築物が前連結会計年度末に比べ29億15百万円増加したことによるものであります。

無形固定資産は、13億13百万円となり前連結会計年度末に比べ84百万円増加いたしました。これは主に、新規出店に関連した借地権の増加によるものであります。

投資その他の資産は、103億60百万円となり前連結会計年度末に比べ3億22百万円増加いたしました。これは主に、新規出店に関連して敷金及び保証金が前連結会計年度末に比べ3億17百万円増加したことによるものであります。

(総負債)

流動負債は188億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億46百万円増加いたしました。これは主に、社債10億円の償還期限が1年内になったことによるものであります。なお、流動負債の構成比は前連結会計年度末に比べ0.5ポイント増加し32.5%となりました。

固定負債は119億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億55百万円増加いたしました。これは主に、長期運転資金の調達を行ったことにより、長期借入金の前連結会計年度末に比べ10億20百万円増加したことによるものであります。この結果、固定負債の構成比は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント増加し20.5%となりました。

(純資産)

株主資本は264億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億17百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益12億54百万円の計上と前連結会計年度末に係る剰余金の配当4億36百万円によるものであります。

その他の包括利益累計額は8億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加いたしました。これは、投資有価証券の時価変動により、その他有価証券評価差額金が前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.6ポイント減少し47.0%となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ11億62百万円減少し、46億28百万円となりました。

各キャッシュ・フロー別の状況を示すと、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は25億69百万円となり、前年同期に比べ1億36百万円減少（前年同期比5.0%減）いたしました。

これは主に、経常利益の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は43億57百万円となり、前年同期に比べ31億50百万円増加（前年同期比261.2%増）いたしました。

これは主に、当第2四半期連結累計期間における新規出店2店舗と在庫保管型物流センターの建設により、有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ31億35百万円増加（前年同期比352.6%増）したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は6億25百万円（前年同期は使用した資金が17億49百万円）となりました。

これは主に、長期借入による収入が前年同期に比べ23億円増加（前年同期比766.7%増）となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

【第2四半期連結累計期間の予想値と実績値について】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
予想値 (A)	66,000	2,000	2,000	1,100	62.97
実績値 (B)	67,496	2,110	2,154	1,254	71.80
増減額 (B-A)	1,496	110	154	154	8.83
増減率 (%)	2.3	5.5	7.7	14.0	14.0

実績値については、いずれも当初予想値を上回りました。

これは、競合状況等を踏まえ、当初、既存店売上高が前年同期比0.9%の減少、全店売上高が前年同期比3.4%増加と見込んでおりましたが、実績は、既存店売上高が前年同期とほぼ同額、全店売上高が前年同期に比べ4.5%増加となったこと、および、販売費及び一般管理費が概ね当初の予定に収まったことによるものであります。

【通期の予想値について】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,000	30.0	4,500	15.3	4,700	12.6	2,400	17.9	117.65

当初未定としておりましたが、上記のとおり公表いたします。

<理由>

当社は、平成25年4月12日付で情報開示を行ったとおり、株式会社フレッセイホールディングスと、当社を株式交換完全親会社、株式会社フレッセイホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換契約を締結し、平成25年10月1日にこの株式交換の効力が発生いたしました。

第3四半期連結会計期間以降に当該株式交換による業績変動の影響が見込まれますが、当該影響につきましては当初、未確定であったことから通期連結業績予想の公表を差し控えていただいていたものであります。

今般、当該影響の算定が完了したため、通期連結業績予想を公表するものであります。

【上記通期予想値の前提条件】

売上高につきましては、主たる事業であるスーパーマーケット事業において、昨今の経済状況並びに第2四半期累計期間の実績を踏まえ、既存店売上高は前年同期とほぼ同等、全店売上高は新規出店3店舗による増加を見込んでおります。また、連結子会社の増加による売上高の増加（6か月分）については340億円程度を見込んでおります。

営業利益につきましては、売上総利益率の若干の改善と売上高の増加による売上総利益の増加を見込んでおります。また、連結子会社の増加による営業利益の増加（6か月分）については約4億円を見込んでおります。

経常利益につきましては、前連結会計年度において発生した雪害に関する受取保険金の減少を見込んでおりますが、連結子会社の増加による経常利益の増加（6か月分）について4億円強を見込んでおります。

当期純利益につきましては、特別損失の減少に加え、連結子会社の増加による当期純利益の増加（6か月分）について2億円強を見込んでおります。

【期末配当予想について】

当初未定としておりましたが、上記通期連結業績予想及び当社の配当政策である配当性向（連結当期純利益の概ね30%）に照らし、1株当たり年間配当金を36円（中間10円、期末26円）といたします。

2 サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間において、連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表規則に規定する「四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理」の適用はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,792	4,630
受取手形及び売掛金	692	652
リース投資資産	1,862	1,751
商品及び製品	2,657	2,726
仕掛品	9	30
原材料及び貯蔵品	120	131
未収還付法人税等	84	30
繰延税金資産	574	545
その他	2,450	2,489
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	14,234	12,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,527	14,442
機械装置及び運搬具(純額)	431	384
土地	13,632	14,161
リース資産(純額)	2,101	2,531
建設仮勘定	799	234
その他(純額)	1,318	1,627
有形固定資産合計	29,811	33,382
無形固定資産		
のれん	0	0
リース資産	36	4
その他	1,192	1,309
無形固定資産合計	1,229	1,313
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097	2,256
長期貸付金	18	20
繰延税金資産	1,345	1,167
敷金及び保証金	5,615	5,933
その他	966	988
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	10,038	10,360
固定資産合計	41,079	45,057
資産合計	55,313	58,035

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,873	9,047
短期借入金	300	500
1年内償還予定の社債	—	1,000
1年内返済予定の長期借入金	2,692	2,720
リース債務	312	283
未払法人税等	674	755
ポイント引当金	6	5
役員賞与引当金	105	55
賞与引当金	986	999
その他	3,757	3,487
流動負債合計	17,708	18,854
固定負債		
社債	1,000	—
長期借入金	2,124	3,145
リース債務	2,659	3,073
資産除去債務	2,527	2,627
長期預り保証金	2,691	2,813
その他	251	251
固定負債合計	11,254	11,910
負債合計	28,963	30,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	6,405	6,405
利益剰余金	16,748	17,566
自己株式	△673	△673
株主資本合計	25,640	26,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	709	811
その他の包括利益累計額合計	709	811
純資産合計	26,350	27,269
負債純資産合計	55,313	58,035

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	64,633	67,496
売上原価	47,774	49,959
売上総利益	16,859	17,536
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	6	5
従業員給料	2,452	2,555
雑給	4,295	4,417
役員賞与引当金繰入額	52	55
賞与引当金繰入額	916	929
賃借料	42	38
地代家賃	1,284	1,393
減価償却費	925	918
のれん償却額	47	0
貸倒引当金繰入額	1	1
その他	4,658	5,110
販売費及び一般管理費合計	14,683	15,425
営業利益	2,175	2,110
営業外収益		
受取利息	33	31
受取配当金	16	18
受取保険金	40	13
その他	58	29
営業外収益合計	148	92
営業外費用		
支払利息	52	44
その他	4	5
営業外費用合計	57	49
経常利益	2,267	2,154
特別利益		
固定資産売却益	33	1
特別利益合計	33	1
特別損失		
固定資産売却損	—	5
固定資産除却損	—	12
投資有価証券評価損	19	—
減損損失	—	12
特別損失合計	19	30
税金等調整前四半期純利益	2,281	2,124
法人税、住民税及び事業税	813	719
法人税等調整額	176	150
法人税等合計	990	870
少数株主損益調整前四半期純利益	1,290	1,254
四半期純利益	1,290	1,254

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,290	1,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	102
その他の包括利益合計	96	102
四半期包括利益	1,387	1,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,387	1,356
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,281	2,124
減価償却費	1,049	1,024
減損損失	—	12
のれん償却額	47	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	1
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43	△50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11	13
受取利息及び受取配当金	△50	△49
支払利息	52	44
投資有価証券評価損益 (△は益)	19	—
固定資産売却損益 (△は益)	△33	4
固定資産除却損	—	12
売上債権の増減額 (△は増加)	△9	40
たな卸資産の増減額 (△は増加)	150	△101
仕入債務の増減額 (△は減少)	253	174
未払又は未収消費税等の増減額	53	△163
リース投資資産の増減額 (△は増加)	69	110
その他	△360	△17
小計	3,493	3,179
利息及び配当金の受取額	18	19
利息の支払額	△49	△44
法人税等の支払額	△755	△584
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,706	2,569
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△889	△4,025
有形固定資産の売却による収入	155	118
無形固定資産の取得による支出	△46	△113
貸付けによる支出	△1	△10
貸付金の回収による収入	20	12
その他	△444	△339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,206	△4,357
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	600	200
長期借入れによる収入	300	2,600
長期借入金の返済による支出	△2,035	△1,552
リース債務の返済による支出	△263	△186
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△350	△435
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,749	625
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△250	△1,162
現金及び現金同等物の期首残高	6,713	5,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,463	4,628

(4) 継続企業の前提に関する事項

当第2四半期連結会計期間（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客に対する売上高	64,283	64,283	350	64,633
セグメント間の内部売上高又は振替高	37	37	1,438	1,475
合計	64,321	64,321	1,788	66,109
セグメント利益	2,029	2,029	139	2,169

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客に対する売上高	67,141	67,141	355	67,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	39	1,477	1,517
合計	67,181	67,181	1,832	69,013
セグメント利益	1,897	1,897	228	2,126

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容

(差異調整に関する事項)

利益	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
報告セグメント合計	2,029百万円	1,897百万円
「その他」の区分の利益	139百万円	228百万円
セグメント間取引消去	△32百万円	3百万円
全社費用	△649百万円	△666百万円
その他の調整額	687百万円	647百万円
四半期連結損益計算書の営業利益	2,175百万円	2,110百万円

(注) 1 セグメント間取引消去は、主にセグメント間の固定資産売買によって生じた未実現利益に係る調整であります。

2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社（持株会社である当社）に係るものであります。

3 その他調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社（持株会社である当社）に対する経営指導料支払額の消去であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な影響を及ぼすものではありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(当社による株式会社フレッセイホールディングスの完全子会社化に関する株式交換契約)

当社は平成25年4月12日をもって、当社を株式交換完全親会社、株式会社フレッセイホールディングスを株式交換完全子会社とする株式交換契約を締結いたしました。本株式交換は平成25年10月1日をもって効力が発生いたしました。

4 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 販売実績

(単位 百万円、%)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		前年同期比			
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	比率		
スーパーマーケット	生鮮食品	青果	8,170	12.4	8,669	12.6	498	106.1
		精肉	6,869	10.4	7,431	10.8	561	108.2
		水産	5,645	8.5	6,002	8.7	357	106.3
		惣菜	6,167	9.3	6,582	9.5	414	106.7
		計	26,853	40.6	28,685	41.6	1,832	106.8
	一般食品	デイリー	12,268	18.6	12,723	18.4	454	103.7
		加工食品	18,411	27.8	18,859	27.3	447	102.4
		インスタアペーカリー	931	1.4	1,014	1.5	83	109.0
		計	31,611	47.8	32,597	47.2	986	103.1
	住居	2,755	4.2	2,732	4.0	△23	99.2	
	衣料品	99	0.1	86	0.1	△12	87.4	
	その他	118	0.2	115	0.2	△2	97.6	
	営業収入	2,846	4.3	2,924	4.2	77	102.7	
セグメント間の内部売上高又は振替高	37	0.1	39	0.0	1	105.2		
	小計	64,321	97.3	67,181	97.3	2,859	104.4	
その他	外部顧客に対する売上高	350	0.5	355	0.5	5	101.5	
	セグメント間の内部売上高又は振替高	1,438	2.2	1,477	2.2	39	102.7	
	小計	1,788	2.7	1,832	2.7	44	102.5	
	合計	66,109	100.0	69,013	100.0	2,904	104.4	

② 仕入実績

(単位 百万円、%)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		前年同期比			
	仕入高	構成比	仕入高	構成比	金額	比率		
スーパーマーケット	生鮮食品	青果	6,440	13.5	6,872	13.7	432	106.7
		精肉	5,228	10.9	5,811	11.5	582	111.1
		水産	4,184	8.7	4,556	9.1	372	108.9
		惣菜	3,722	7.8	3,947	7.8	225	106.1
		計	19,575	40.9	21,188	42.1	1,612	108.2
	一般食品	デイリー	9,182	19.2	9,546	19.0	364	104.0
		加工食品	14,849	31.0	15,357	30.5	508	103.4
		インスタアペーカリー	434	0.9	460	0.9	26	106.0
		計	24,466	51.1	25,364	50.4	898	103.7
	住居	2,209	4.6	2,121	4.2	△87	96.1	
	衣料品	71	0.2	62	0.2	△8	88.2	
	その他	102	0.2	91	0.2	△10	89.8	
	リース原価	110	0.2	110	0.2	△0	99.5	
セグメント間の内部仕入高又は振替高	97	0.2	98	0.2	0	100.4		
	小計	46,633	97.4	49,038	97.5	2,405	105.2	
その他	外部取引先からの仕入高	1,088	2.3	1,089	2.2	0	100.1	
	セグメント間の内部仕入高又は振替高	167	0.3	174	0.3	7	104.4	
	小計	1,256	2.6	1,264	2.5	8	100.6	
	合計	47,889	100.0	50,302	100.0	2,413	105.0	

(注) セグメント間の内部取引高を含めて表示しており、消費税等は含まれておりません。